

7月23日 ペトロの手紙一 3章13～22節

説教題：「信仰に生きるということ」

今日の聖書箇所では、宣教を行う上で私たちが教えられている希望を「穏やかに、敬意をもって、正しい良心で、弁明する」ことが必要だと語られています。私たちが誰かを教会に招くときには、その人の信じているものをけなして、「キリスト教が何よりも正しい」と言い張ることは逆効果になります。特に私たちが生きる日本という国の「空気を読む」ことを重んじる文化の中で、「他の人と違う事を言う」「違う信仰を持つ」ことは決して簡単ではありません。たとえ正しい行いをして、「空気を読まない」ことで責められることが往々にしてあるのです。

だからこそ、私たちの行う宣教はその「空気」を、正面から破壊するようなものに見えてはいけません。実際に、何よりも優先して神様のことを考えることを勧められている私たちですから、神様の正しさよりも人間の中の平穏を優先することは、ほめられたことではありません。だからこそ、キリスト者の中には相手に対して早く悔い改めるように勧める、情熱のある人も多くいます。ただ、今日の個所で言われているように、そこに「穏やかに、敬意をもって、正しい良心で、弁明する」姿勢がなければ、正面衝突をして、どちらも納得しないままで終わってしまうことになるのです。柔和である事、誰かを傷つけない事、誰かを貶めないことは、私たちが御言葉を伝える上で必要最低限の条件です。相手に対する敬意から始まり、その敬意によって私たちは正しい言葉を正しいままに伝えることができるようになるのです。

もちろん、私たち自身が「空気を読む」ことを優先して、正しさを捨ててしまうようなことがあってはいけません。大切なことは、いつも・どんな時も・どこでも・誰と接しているときも、私たちがキリスト者であることを忘れないということです。神様に見られていることを意識しながら喋ることが、行動することが出来ているのか、「信仰に生きている」という意識をもちながら歩み続けることが出来ているのか、それを常に意識することが求められています。神様に生かされて、神様と共に生きて、神様の力の中で用いられていることを意識し続けること、それが、私たちが信仰に生きるために必要なことなのです。

私たちは、神様に愛されて、幸せに生きて、神様の正しさの中で善人として生きて、イエス様の導きの中で堂々と生きて、聖霊に満たされてどんなことにも挑戦する力強さを与えられて、日々の生活を怒ることが出来ています。そのように、私たちがただ「クリスチャンとして生きる」ことによって、さらに誰かから「どうしてそんなに幸せそうなのか」「どうしてそんなに堂々と生きることが出来るのか」と聞かれたときに、臆することなく「私たちは神様の愛の中で生きていることを知っているからだ」と伝えることが出来るのならば、それに勝る宣教はないのでしょうか。

もしこの生き方が、この時代を生きる中で難しい生き方だったとしても、善人として生きることが苦しい道だったとしても、それでも私たちは決して孤独にはなりません。それは、常に私たちのそばには神様が共にいてくれているからです。その力強さに支えられながら、今週一週間の歩みを、これからの歩みをともに進めていきましょう。

今日の説教箇所：ペトロの手紙一 3章 13～22節

- ・ 13:もし、善いことに熱心であるなら、だれがあなたがたに害を加えるでしょう。しかし、義のために苦しみを受けるのであれば、幸いです。人々を恐れたり、心を乱したりしてはいけません。心の中でキリストを主とあがめなさい。あなたがたの抱いている希望について説明を要求する人には、いつでも弁明できるように備えていなさい。それも、穏やかに、敬意をもって、正しい良心で、弁明するようにしなさい。そうすれば、キリストに結ばれたあなたがたの善い生活をののしる者たちは、悪口を言ったことで恥じ入るようになるのです。神の御心によるのであれば、善を行って苦しむ方が、悪を行って苦しむよりはよい。キリストも、罪のためにただ一度苦しまれました。正しい方が、正しくない者たちのために苦しまれたのです。あなたがたを神のもとへ導くためです。キリストは、肉では死に渡されましたが、霊では生きる者とされたのです。そして、霊においてキリストは、捕らわれていた霊たちのところへ行って宣教されました。この霊たちは、ノアの時代に箱舟が作られていた間、神が忍耐して待っておられたのに従わなかった者です。この箱舟に乗り込んだ数人、すなわち八人だけが水の中を通過して救われました。この水で前もって表された洗礼は、今やイエス・キリストの復活によってあなたがたをも救うのです。洗礼は、肉の汚れを取り除くことではなくて、神に正しい良心を願い求めることです。キリストは、天に上って神の右におられます。天使、また権威や勢力は、キリストの支配に服しているのです。